

生坂村合併70周年・道の駅いくさかの郷7周年記念イベントに「脱炭素ブース」を出店しました

8月8日（土）、道の駅いくさかの郷で行われた生坂村合併70周年・道の駅いくさかの郷7周年記念イベントに、脱炭素ブースを出店しました。ブースでは断熱材や断熱窓の模型などを展示したほか、村内在住者向けに断熱改修補助金の相談会を開催しました。

多くの方がブースを訪れ、断熱は暑さだけでなく寒さにも有効であることを説明すると、「今年度の申請はまだ間に合いますか」「窓の改修だけでも補助の対象になりますか」など、前向きな声も聞かれました。



▲ 相談会で補助内容を説明



▲ 断熱仕様の模型や実物を展示



▲ ラジオ生放送で補助内容をPR

既存住宅・古民家
断熱改修補助

住まいの天井・外壁・床・窓などを断熱仕様に改修する費用を補助します。「家全体は難しい」という場合も、部屋や部位を組み合わせれば対象になることがあります。

補助率

対象経費の **2/3**

補助金額

上限120万円

補助申請は12月末日まで受け付けています。ご相談は村づくり推進室まで。

● EDITOR'S NOTE 編集後記

取材の帰りぎわ、ゆでたてのトウモロコシと採れたてのキュウリをごちそうになりました。「レンジでチンしただけ」というトウモロコシの甘さに驚いていると、今度はご自宅の畑で採れたキュウリの漬物まで出してくださいました。

ご自宅の太陽光パネルに関して話を聞きに伺ったはずなのに、すっかりごちそうになってしまったひととき。生坂村の温かさにほっこりしながら、インタビューも弾みました。ありがとうございました。（大枝）

お知らせ

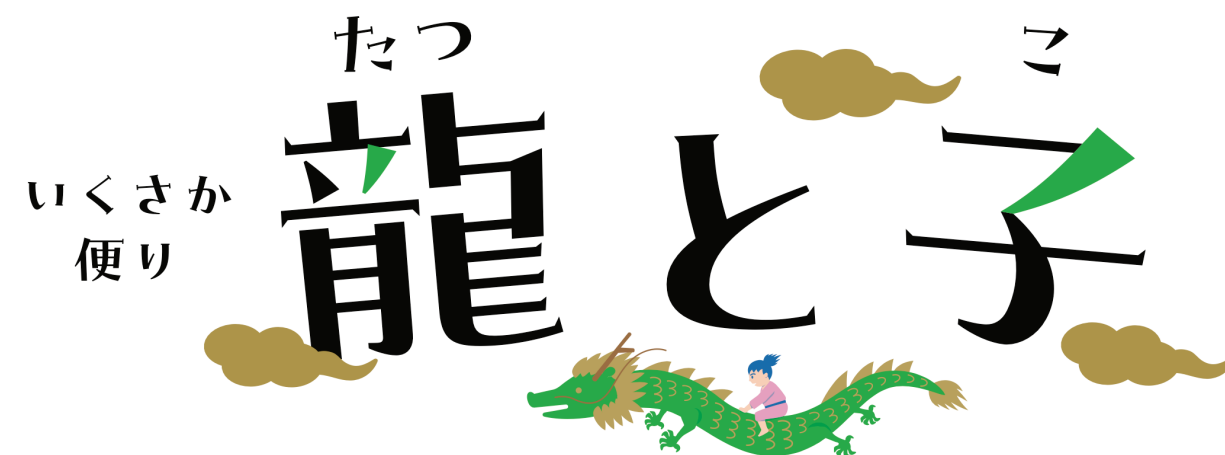
村の脱炭素事業を紹介する動画を、ICN自主放送で放映中です。SNSやHPからご覧いただけます。



HP



Instagram



▲ 生坂村合併70周年・道の駅いくさかの郷7周年記念イベント（8月8日）

TOPICS / 今号の特集

特集・瓦屋根でも、太陽光は載る
脱炭素事業の立ち位置と進捗状況

山本さんご夫妻に聞く「停電の日」
8/8 70周年イベントに脱炭素ブース

vol.
32
2026 Aug.

PROJECT STATUS

脱炭素事業の“立ち位置”

2023年4月28日、生坂村は環境省の「脱炭素先行地域」（第3回）に選定されました。2028年度までの計画は折り返しに差しかかっています。この事業は何を目指し、いまどこまで進んでいるのか。あらためて整理しました。

① この事業で目指しているもの

実質ゼロ

脱炭素先行地域事業の最終年度である2028年度までに、家庭や事業所の電力消費に伴うCO2排出を実質的にゼロにすることを目指します。

65%削減

村全体のCO2排出量を、2030年度までに2013年度比65%削減する目標を掲げています。

地域課題の解決

エネルギーの地産地消によって、防災力の強化、地域経済循環の創出、暮らしの質の向上を図り、村の抱える地域課題の解決につなげます。

※実質ゼロ：「CO2を全く出さない」という意味ではなく、「出すCO2」と「減らすCO2」の量をつり合わせて、実質的にゼロにすること

目的は、脱炭素事業を通じて生坂村民の暮らしを守ること。

② 進捗状況（2025年度末時点）

太陽光発電設備

民家47軒／民間施設9施設／公共施設34施設

省エネ機器等導入補助

民家99件（エアコン・給湯器・LED・太陽熱利用設備）

公共施設の省エネ化改修

2施設（やまなみ荘・保育園）

EV公用車の導入

EV公用車5台・EVバス1台・カーシェアリング

木質バイオマス熱利用

やまなみ荘ヘッチャポイラー導入

自営線マイクログリッド

2026年度 完成予定

遊休地等への太陽光発電設備

1箇所（オフサイトPPA）

古民家脱炭素リノベーション

2軒

EV充電器・EV充放電器（V2H）

充電器5基・充放電器8基

木質バイオマスストーブ

民家11台・公共施設9台

村営ZEH住宅

2棟（4戸）

小水力発電所

2028年度 完成予定

実質ゼロ達成率

27%

生坂村は3年目で27%、3年を経過した先行地域の全国平均約16%と比較しても高い数値ということで、環境省からは生坂村の着実な進捗を評価されています。

INTERVIEW

下生坂地区 山本さんご夫妻

瓦屋根でも、発電しました。

「うちは瓦屋根だから、太陽光発電は無理」。村内でよく聞く言葉です。下生坂地区の山本雅一さん宅も、昔ながらの瓦屋根。それでも今年、屋根の上に太陽光パネルが載りました。決め手になったのは、瓦専用の金具でした。



▲ 山本雅一さんご夫妻

Q：瓦屋根に載せることへの不安はありましたか？

（雅一さん）もともと2階の屋根に、お湯を沸かす太陽熱のパネルが載っていたんです。使わないまま、瓦の上に直接置いてあっただけでしたが。それに比べれば、今回のパネルは重さのうちに入らないかもしれない。

Q：実際は、どうやって取り付けられるのですか？

（雅一さん）瓦を外して、金属の台座を取り付け、その上にパネルを載せるんです。見せてもらうまでは分からなかったですね。「瓦には金具をつけるんだよ」と、もっと強調して言えばいいのかなと思います。

Q：7月26日の停電では、いかがでしたか？

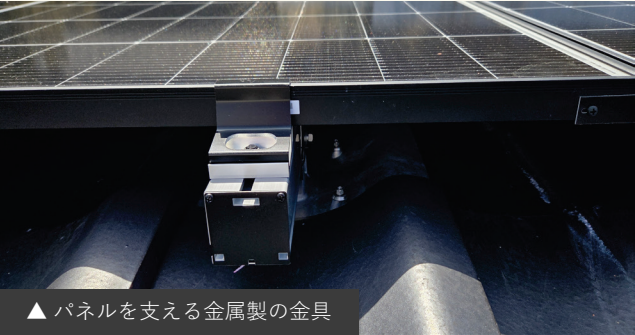
（かづ子さん）一人でオンラインの講習を受けていました。画面が切れましたが、すぐ再開して無事に受けられました。（雅一さん）私は家にいなかったですが、あとで防犯カメラで確認したら、すぐに復旧していました。

● 瓦屋根には、専用の金具で。

瓦を外し、金属製の台座を屋根に固定してから、その上にパネルを載せます。瓦を割ったり、屋根に穴を開けたりする工法ではありません。



▲ 瓦屋根に設置されたパネル



▲ パネルを支える金属製の金具

自分で決める前に、まず相談を。

「古民家だから」「耐震が心配だから」と、ご自身で判断してあきらめてしまう方もいます。載るかどうかは、一度見てもらってからでも遅くありません。

太陽光パネル・蓄電池や電気代のご相談は（株）いくさかてらすまで。

【お問い合わせ先】
株式会社いくさかてらす
TEL 0263-69-2388